

# 2013年3月期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2013年5月9日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2013年5月9日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

- I .2013年3月期の決算及び事業の概況
- II .2013年3月期の取り組み及び重点施策の進捗状況
- III .2014年3月期の重点施策及び今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

# I .2013年3月期の決算及び事業の概況

---





# 2013年3月期 連結決算総括

	2012/3期 【2011/4 ~ 2012/3】	2013/3期 【2012/4 ~ 2013/3】	前期 対比増減
顧客口座数	189,570口座	213,850口座	12.8%
預り証拠金	39,034百万円	39,321百万円	0.7%
外国為替取引高	9,285億通貨単位	14,153億通貨単位	52.4%
営業収益	7,671百万円	5,885百万円	△23.3%
経常利益	527百万円	312百万円	△40.8%
当期純利益	337百万円	95百万円	△71.7%

Point  
1Point  
2Point  
3

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

## 【本決算のポイント】

## Point 1

取引高は業界内シェアが向上し前年比で大きく増加したものの想定よりは伸ばしきれず

- 〔原因1〕 1Q～3Qまで続いた極小レンジ相場による取引高絶対額の伸び悩み
- 〔原因2〕 自社顧客以外の金融法人取引の減少

## Point 2

取引高当たりの収益率は一部特定要因の影響により減少

- 〔原因1〕 低スプレッド&約定力を狙った超短期取引増加
- 〔原因2〕 第4Qにおけるカバースプレッドの拡大
- 〔原因3〕 スプレッド縮小によるカバーレシオの低下

## Point 3

収益力向上・システム費用削減等を目的とする基幹システム刷新に伴う特別損失計上



# 2013年3月期第4四半期 概況

	2013/3期 3Q 【2012/10 ~ 2012/12】	2013/3期 4Q 【2013/1 ~ 2013/3】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	3,029億通貨単位	6,026億通貨単位	98.9%
営業収益	1,563百万円	1,504百万円	△3.8%
経常利益	200百万円	224百万円	11.8%

## 第4四半期の損益影響ファクター

### 【プラス要因】

- ・金融緩和期待に基づいた取引の拡大  
(ドル円、ユーロ円を中心としたナロースプレッド通貨の大幅増)
- ・自社顧客基盤(口座数)の拡大
- ・新顧客取引系システムの稼働

### 【マイナス要因】

- ・変動率※上昇によるカバースプレッドの拡大
- ・超短期取引の増加に伴うカバー効率低下

※ボラティリティ

金融法人向けホワイトラベル取引終了(2月16日)後期末までの通算損益は経常損益ベースで黒字ラインを確保できており、現時点ではホワイトラベル取引終了による影響は限定的であると判断。



## 2013年3月期第4四半期 連結決算の総括とポイント

- ① 口座数は8月に20万口座を突破し順調に拡大。預り証拠金は金融法人顧客による預託金の出金等により前四半期比6.2%減の39,321百万円に。

総口座数	213,850口座	2013/3期3Q末比	2.9%増
預り証拠金	39,321百万円	2013/3期3Q末比	6.2%減

- ② 第4四半期(2013/1-3)の外国為替取引高は、外国為替相場の変動率の上昇等により前四半期比98.9%の増加。

1-3月取引高	6,026億通貨単位	2012/10-12月比	98.9%増
---------	------------	--------------	--------

※取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

- ③ 営業収益は取引高当たり収益率の低下により1,504百万円(前四半期比3.8%減)、経常利益はコストの減少により224百万円(前四半期比11.8%増)となった。

- ④ 四半期純利益は前四半期比1.5%増の124百万円となった。

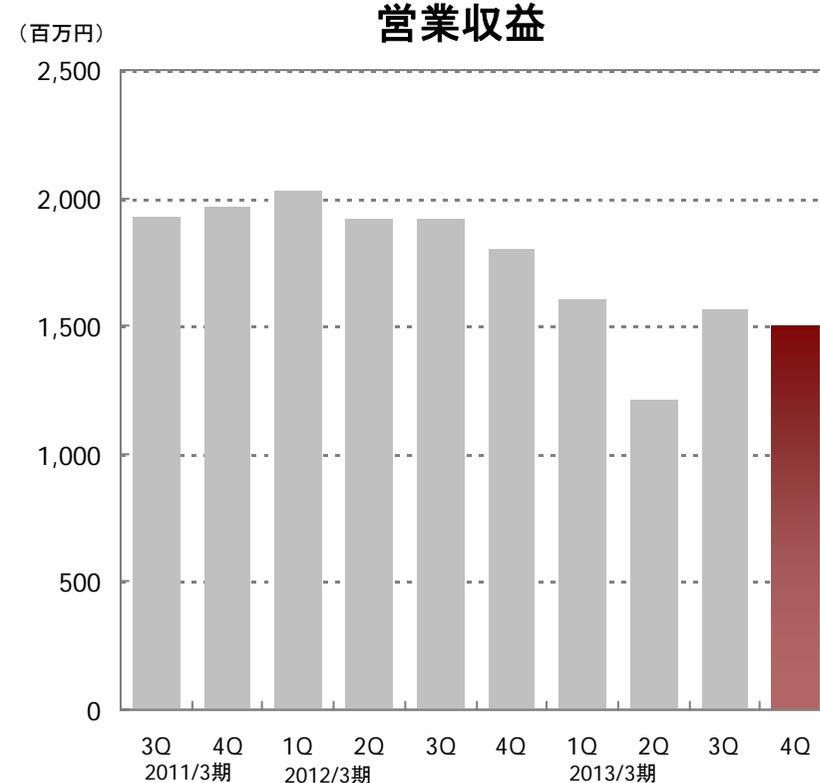
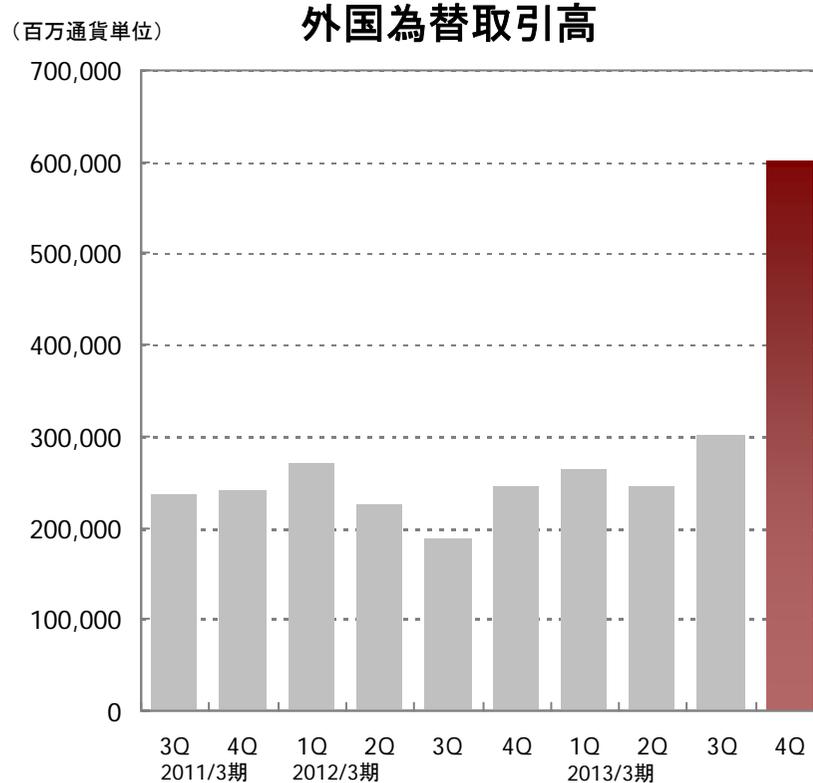
- ✓ 米国の「財政の崖」問題回避や日銀総裁人事を巡る金融緩和期待の思惑等が大きく相場に影響し、外国為替取引高は前四半期比98.9%増加。
- ✓ 営業収益はカバー効率の低下等により収益率が低下し、前四半期比3.8%減少したものの、コスト減少により経常利益は前四半期比11.8%増加。



# 事業数値の動向

Money Partners Group

## ■ 外国為替取引高及び営業収益の推移



(単位＝外国為替取引高：百万通貨単位、営業収益：百万円)

	11/3期 3Q	11/3期 4Q	12/3期 1Q	12/3期 2Q	12/3期 3Q	12/3期 4Q	13/3期 1Q	13/3期 2Q	13/3期 3Q	13/3期 4Q
外国為替取引高	235,158	240,340	270,379	225,346	188,609	244,236	264,466	245,265	302,966	602,634
営業収益	1,930	1,969	2,027	1,922	1,922	1,799	1,604	1,213	1,563	1,504

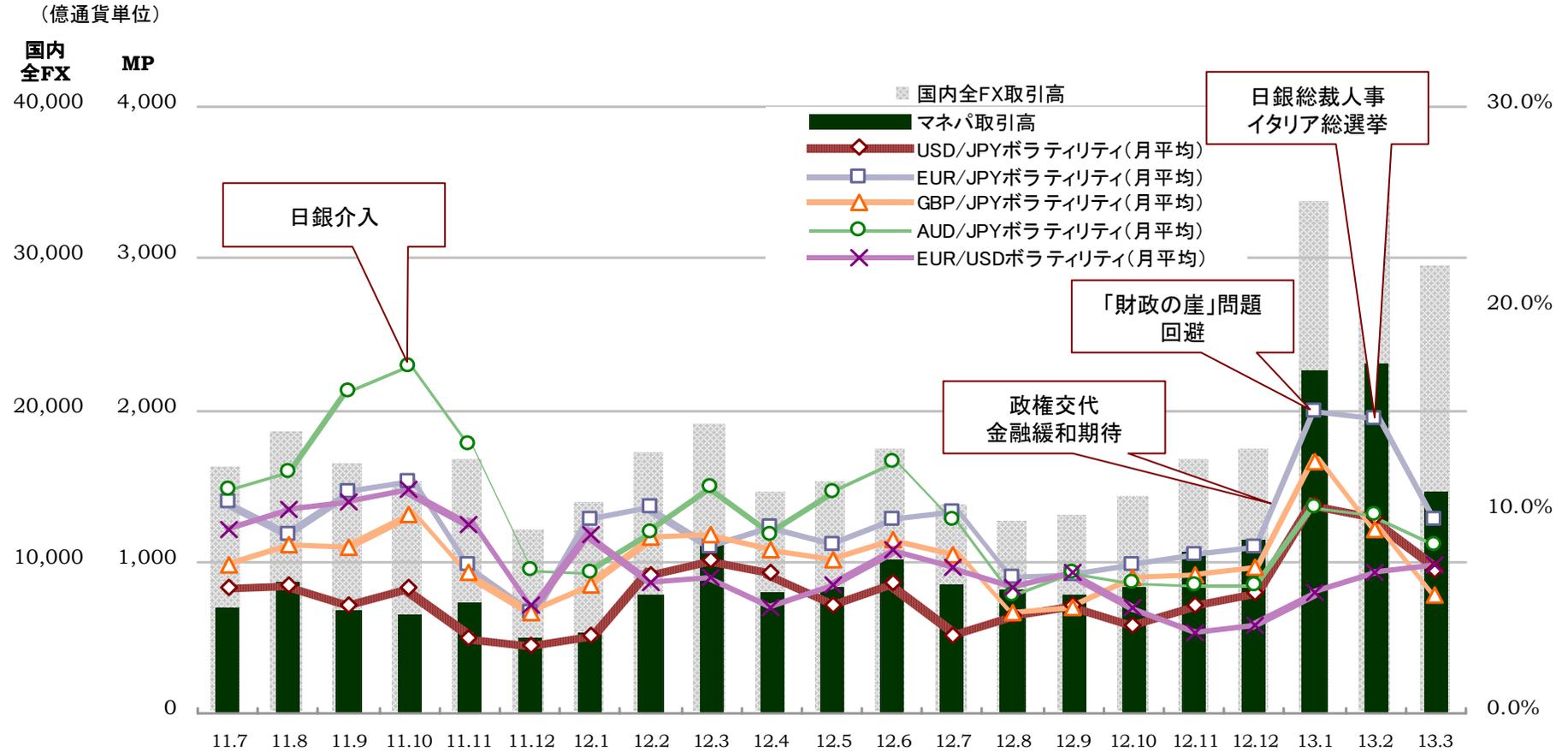
※ それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



# 市場環境と事業の動向

Money Partners Group

## 取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



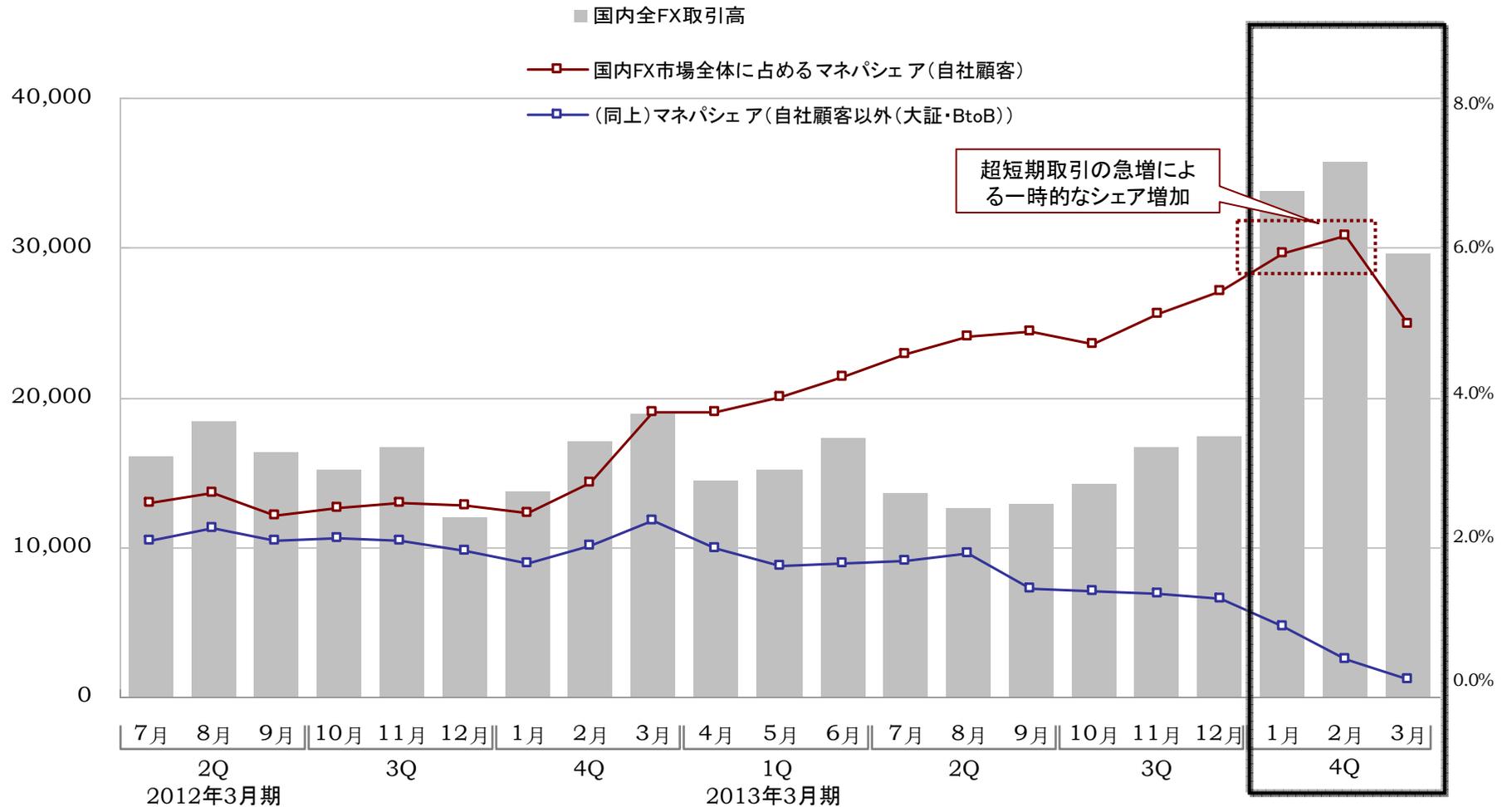
米国の「財政の崖」問題回避や日銀総裁人事を巡る金融緩和期待の思惑等が大きく相場に影響し、ボラティリティは増大。円安トレンドも明瞭に。



Money Partners Group

# 市場環境と事業の動向

## 国内全FX取引高と当社シェアの推移



日銀の金融緩和政策への思惑から外貨買いの安心感が広がり全体として取引高は増加。1月、2月は超短期取引の急増により一時的に当社シェアは増加。3月は超短期取引の減少や証券会社などのセカンドパーティのシェアが向上した結果、シェアは減少。



# 四半期業績推移

Money Partners Group

## ■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2012/3期				2013/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
営業収益	2,027	1,922	1,922	1,799	1,604	1,213	1,563	<b>1,504</b>	△3.8%
受入手数料	3	4	2	3	2	1	6	<b>17</b>	152.1%
トレーディング損益	2,015	1,903	1,910	1,786	1,592	1,202	1,548	<b>1,473</b>	△4.8%
金融収益	3	4	3	4	4	4	4	<b>3</b>	△7.7%
その他の売上高	4	9	5	5	4	4	4	<b>9</b>	90.7%
金融費用	36	38	37	32	21	22	22	<b>21</b>	△5.5%
売上原価	1	5	3	3	2	2	2	<b>5</b>	107.9%
純営業収益	1,989	1,878	1,882	1,763	1,579	1,188	1,538	<b>1,476</b>	△4.0%
販売費・一般管理費	1,887	1,801	1,641	1,633	1,527	1,332	1,338	<b>1,260</b>	△5.9%
営業利益	102	77	241	129	52	△143	199	<b>216</b>	8.5%
経常利益	98	67	237	123	29	△142	200	<b>224</b>	11.8%
税金等調整前四半期純利益	94	92	237	117	29	△239	198	<b>202</b>	1.8%
四半期純利益	56	80	134	66	16	△167	122	<b>124</b>	1.5%
営業収益経常利益率	4.9%	3.5%	12.3%	6.9%	1.9%	△11.8%	12.8%	<b>14.9%</b>	

1. 取引高は増加したものの営業収益は減少し前四半期比59百万円減の1,504百万円、四半期純利益は前四半期比1百万円増の124百万円となった。
2. 販売費・一般管理費が営業収益の減少以上に減少し、営業収益経常利益率は上昇。



# 四半期販管費推移

Money Partners Group

## ■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位: 百万円

	2012/3期				2013/3期				前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	
取引関係費	973	915	781	767	634	481	439	<b>400</b>	△8.7%
人件費	244	244	263	261	256	242	235	<b>244</b>	3.9%
不動産関係費	266	248	195	206	219	216	218	<b>216</b>	△1.0%
事務費	233	234	237	236	247	221	280	<b>233</b>	△17.0%
減価償却費	124	131	135	135	130	144	141	<b>143</b>	1.2%
租税公課	10	11	11	12	11	13	10	<b>12</b>	13.3%
貸倒引当金繰入れ	—	0	△0	—	—	—	—	—	—
その他	34	15	18	13	26	11	12	<b>9</b>	△21.7%
販売費・一般管理費合計	1,887	1,801	1,641	1,633	1,527	1,332	1,338	<b>1,260</b>	△5.9%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	99	147	130	125	124	130	58	<b>72</b>	23.2%
システム関連費用(※2)	414	399	340	359	380	357	408	<b>362</b>	△11.5%

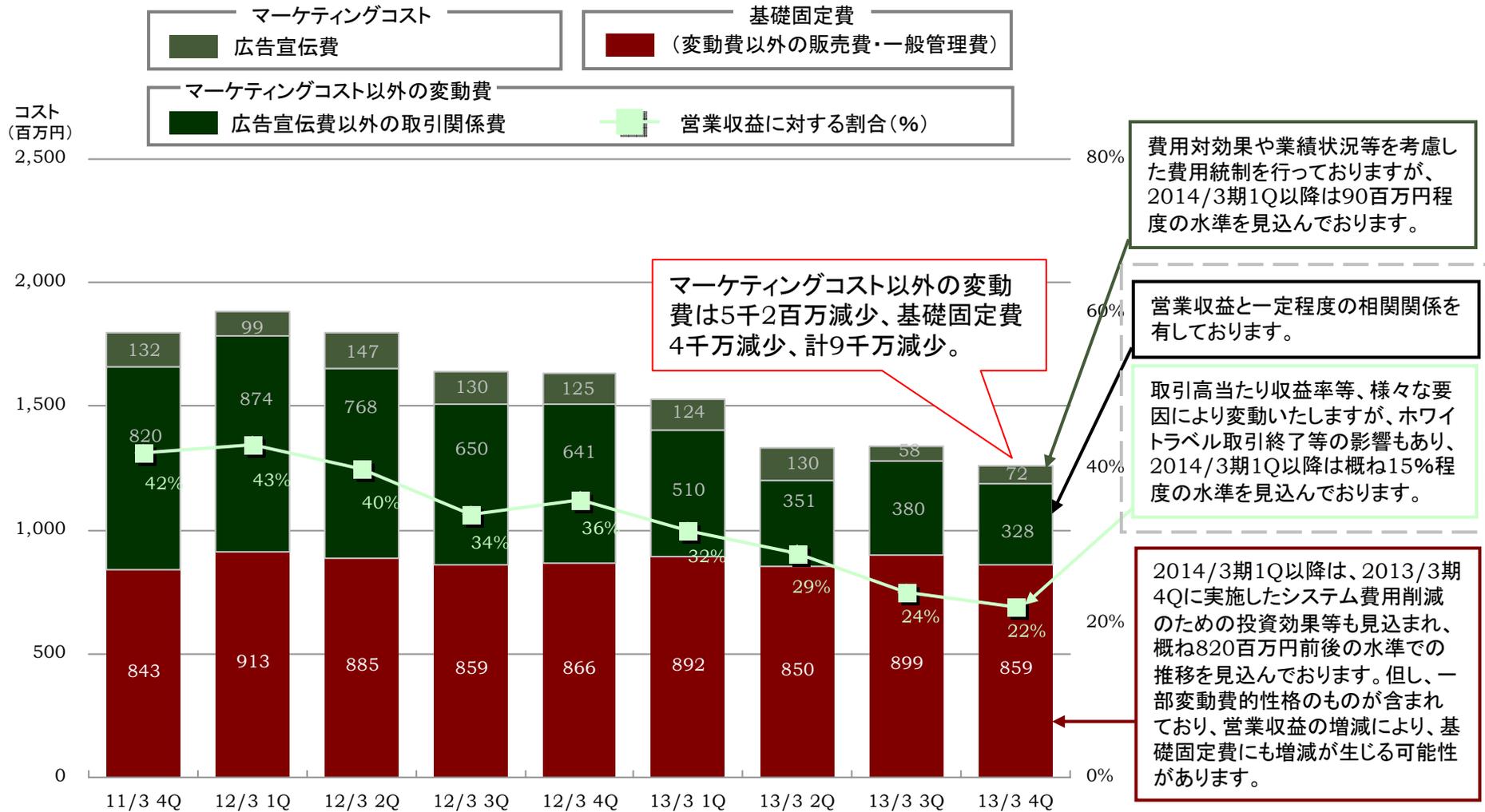
※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

1. 取引関係費は、ホワイトラベル取引の終了等の影響により前四半期比8.7%減少の400百万円となった。
2. 広告宣伝費が23.2%増加したが、コスト全体では前四半期比5.9%減少し、1,260百万円となった。
3. システム関連費用は、システム保守費用減少等により前四半期比11.5%減の362百万円となった。



# 2013年3月期の固定費・変動費推移と今後の動向

## ■ 主要な固定費・変動費の推移



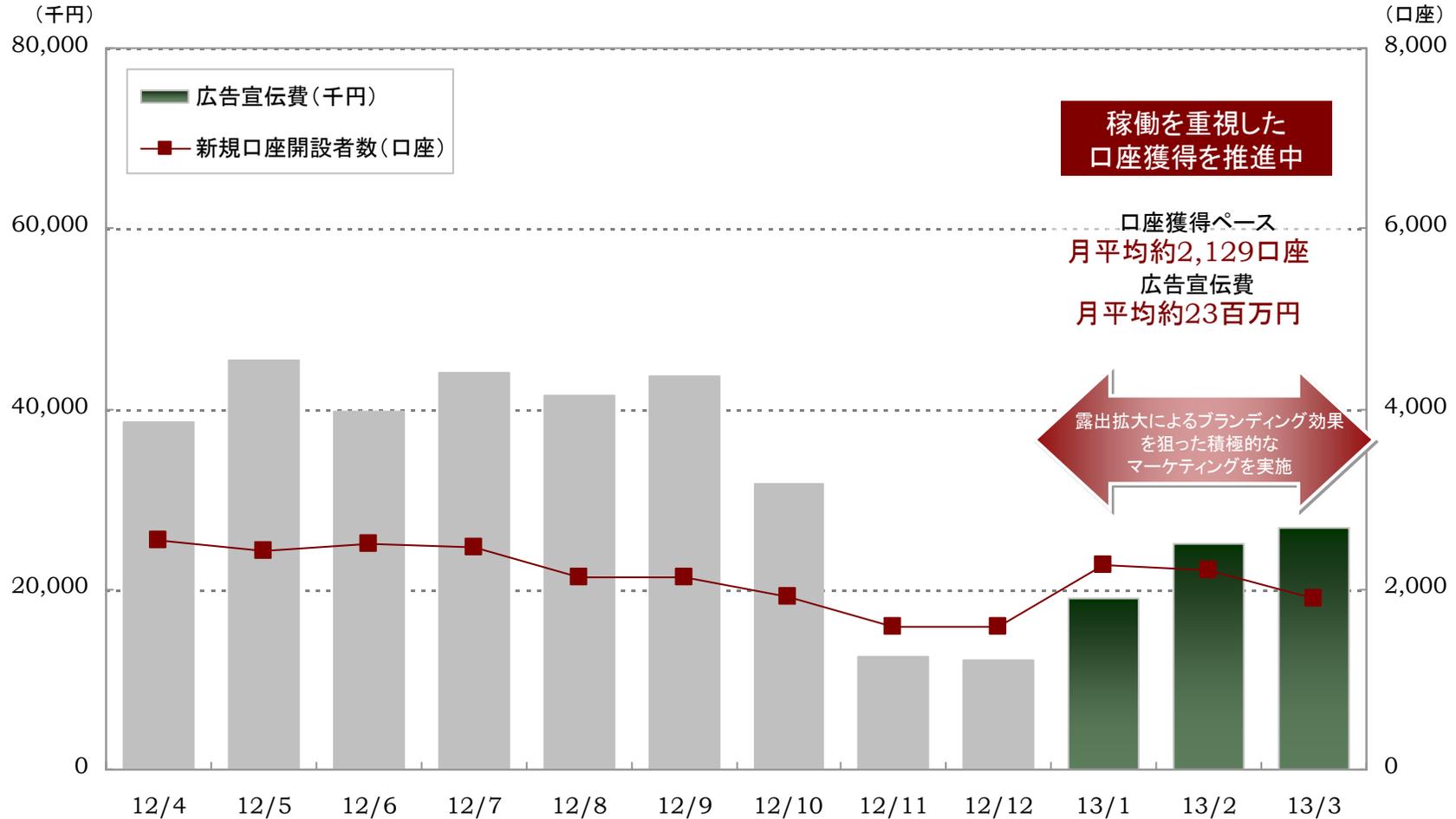
自社顧客取引の拡大に伴い営業収益に対する取引関係費の割合が22%まで低下。  
 2014年3月期はホワイトラベル取引終了やシステム投資効果等により全体のコスト低減を見込んでおります。



# 月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

## ■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



為替への注目の高まりにより、露出の拡大を図り広告宣伝費が増加。大幅な新規口座獲得を実現。



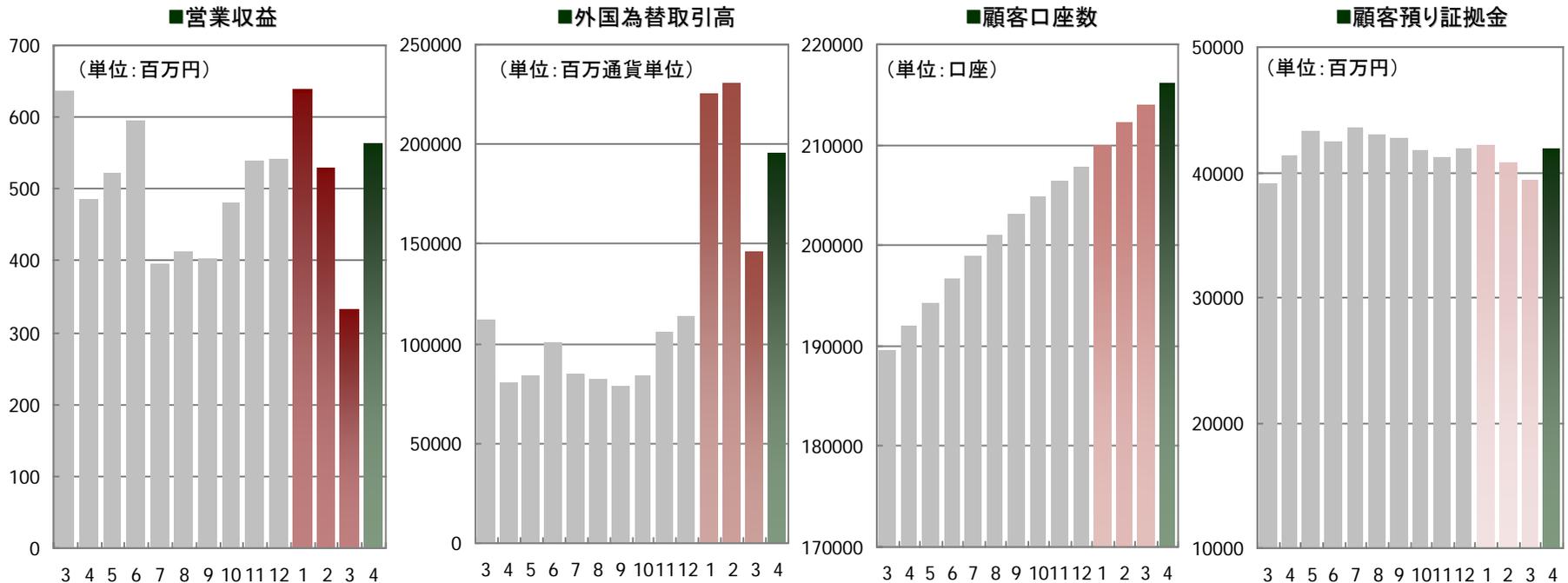
# 月次業績指標推移

Money Partners Group

## ■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2012年										2013年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
営業収益(百万円)	638	485	522	596	396	412	404	482	539	542	639	531	333	565
外国為替取引高 (百万通貨単位)	112,254	80,325	83,691	100,449	84,479	81,991	78,794	83,547	105,437	113,982	225,359	231,130	146,144	193,096
顧客口座数(口座)	189,570	192,007	194,315	196,680	199,051	201,086	203,125	204,938	206,375	207,859	210,010	212,103	213,850	216,178
顧客預り証拠金(百万円)	39,034	41,341	43,321	42,495	43,576	43,005	42,796	41,718	41,219	41,929	42,139	40,774	39,321	41,940

※営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



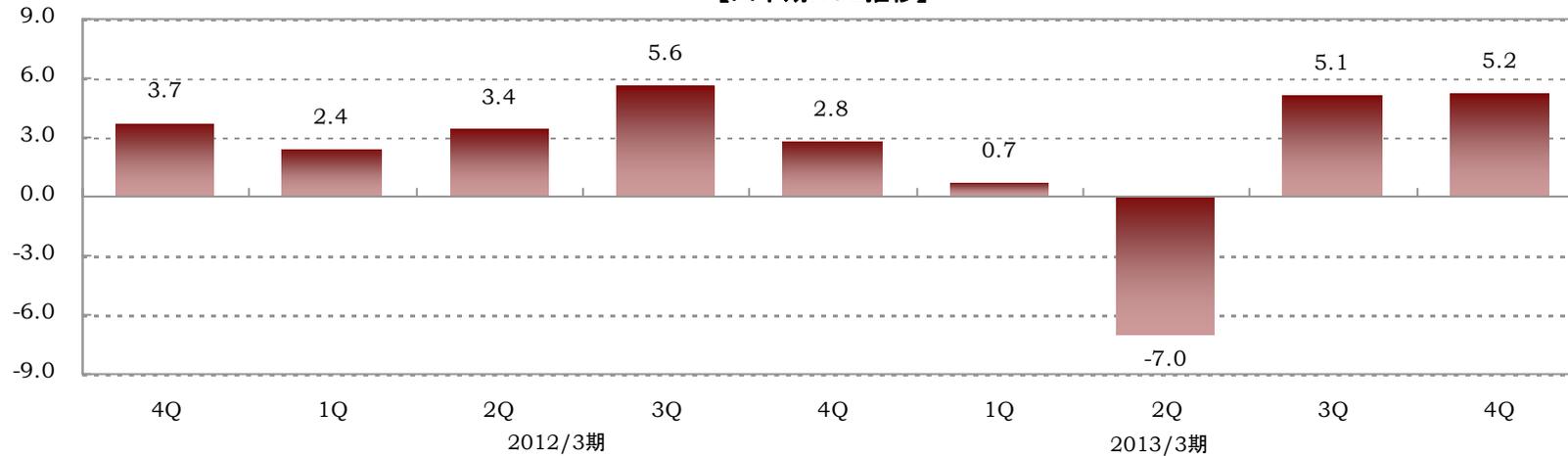


# 主要経営指標推移

Money Partners Group

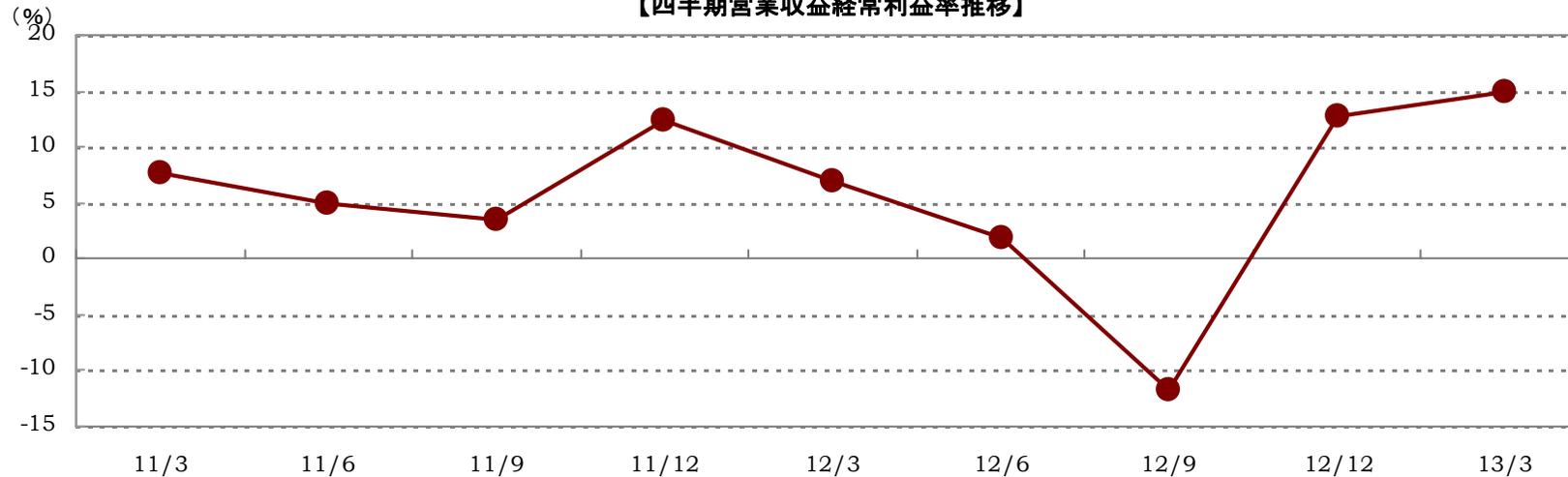
## ■ ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期ROE推移】



※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。  
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



## Ⅱ .2013年3月期の取り組み及び重点施策の進捗状況





## 重点課題

## 重点施策と進捗状況

顧客基盤拡大



収益機会創出



収益力強化

### 1. ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

- ◆ 外貨受取サービス等の利便性向上と訴求を図り、実需サービス利用のマス顧客層を開拓
- ◆ スマホ、タブレット向け取引環境の整備によるビギナー・ライトユーザー層の顧客獲得を実現
- ◆ マネパランボルギーニ「SUPER GT300」レース参戦による着実な認知度向上

### 2. 取引系ツールの強化及びコンテンツ拡充

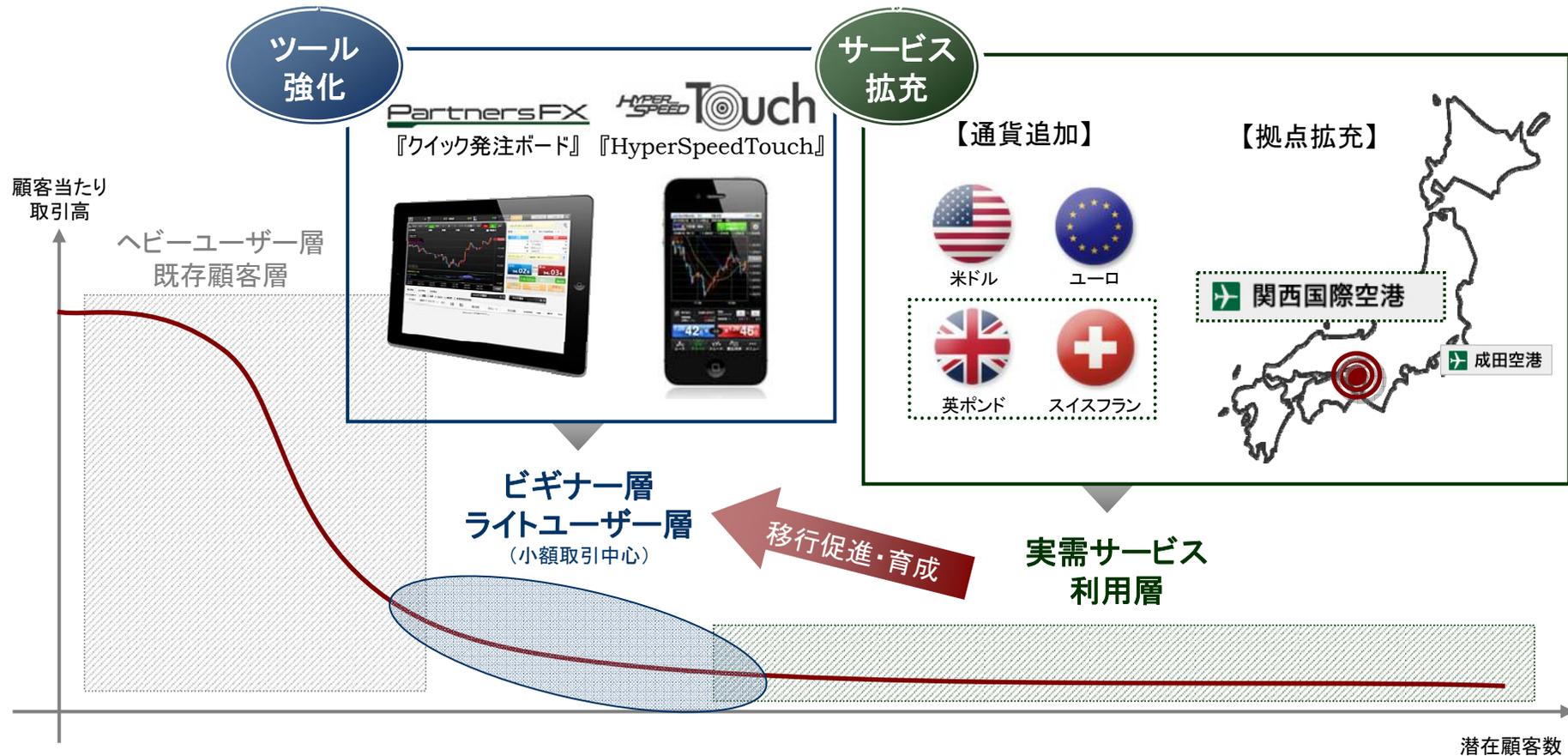
- ◆ スマホ用アプリ『Hyper Speed Touch』の継続改善による“取引のしやすさ”の追求
- ◆ PC・タブレットからのワンストップ取引が可能な最新ツール『クイック発注ボード』リリース
- ◆ ヘビーユーザー層向けPC用リッチクライアントアプリ「HyperSpeed NEXT」の機能強化
- ◆ 初心者向けセミナーの拡充及び情報コンテンツ配信量と質の向上

### 3. 基幹システム刷新による収益性改善

- ◆ 約定取引系、顧客取引系の両基幹システムリニューアルを完了
- ◆ 価格配信システム、カバーディーリングシステムの継続的な改善

## 1. ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

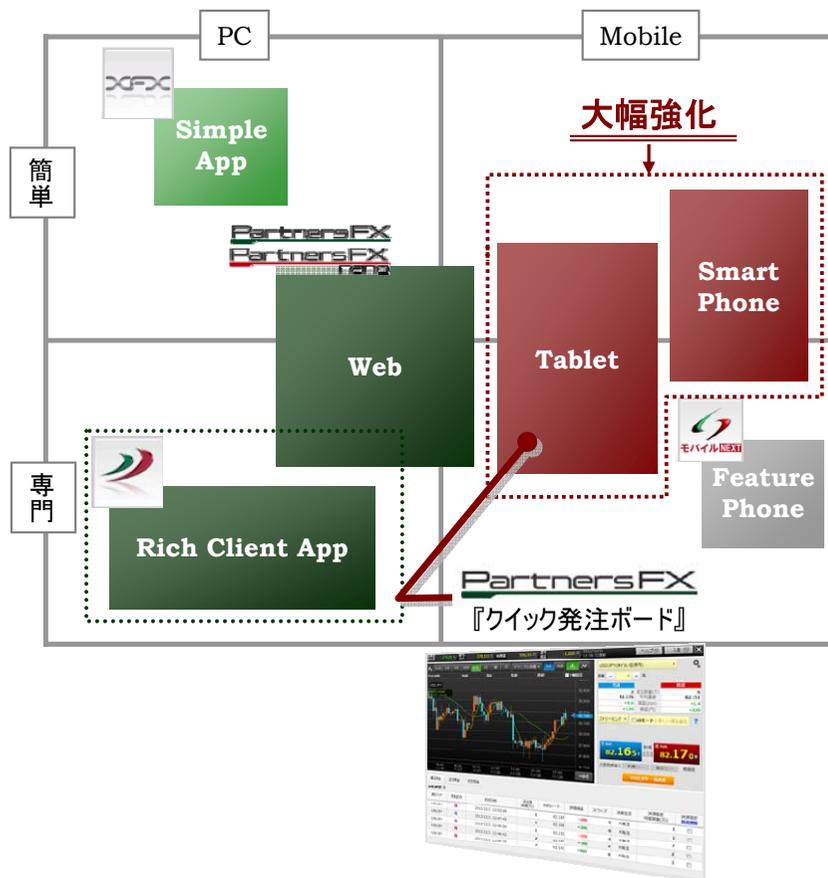
- ◆ 外貨受取サービスやスマホ・タブレットツール拡充など、実需層やビギナー層向け施策に注力



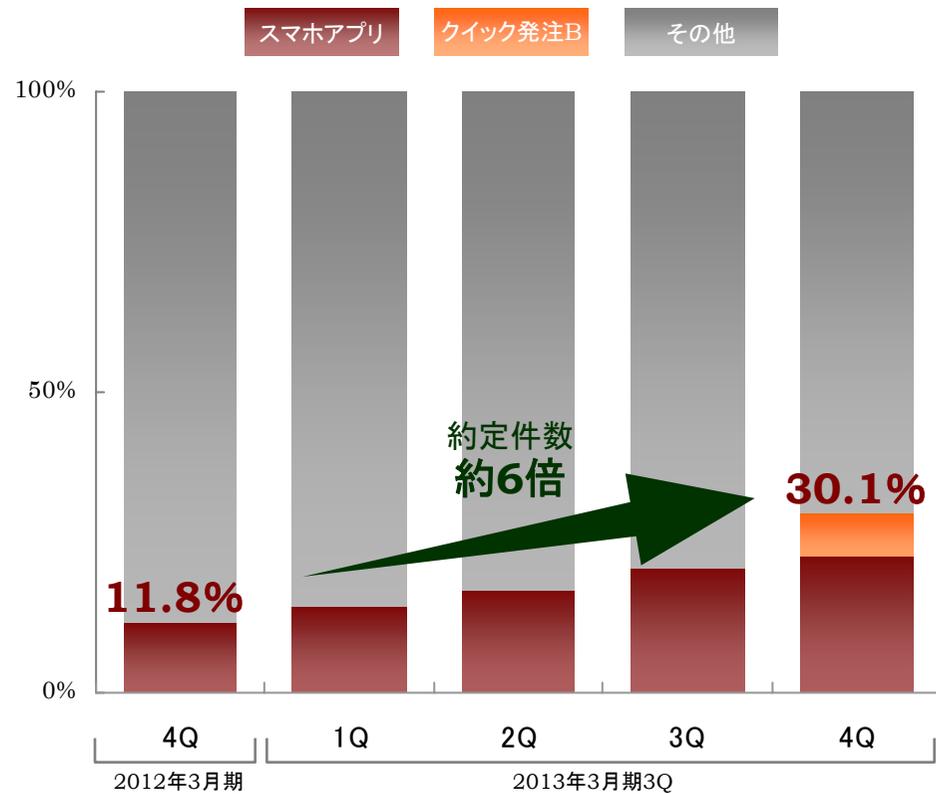
実需層・ビギナー層からの顧客獲得ルート確立に取り組み、マス戦略展開を推進

## 2. 取引系ツールの強化及びコンテンツ拡充

### ◆ スマホ用アプリの継続強化及びPC・タブレット向け新チャネル『クイック発注ボード』のリリース



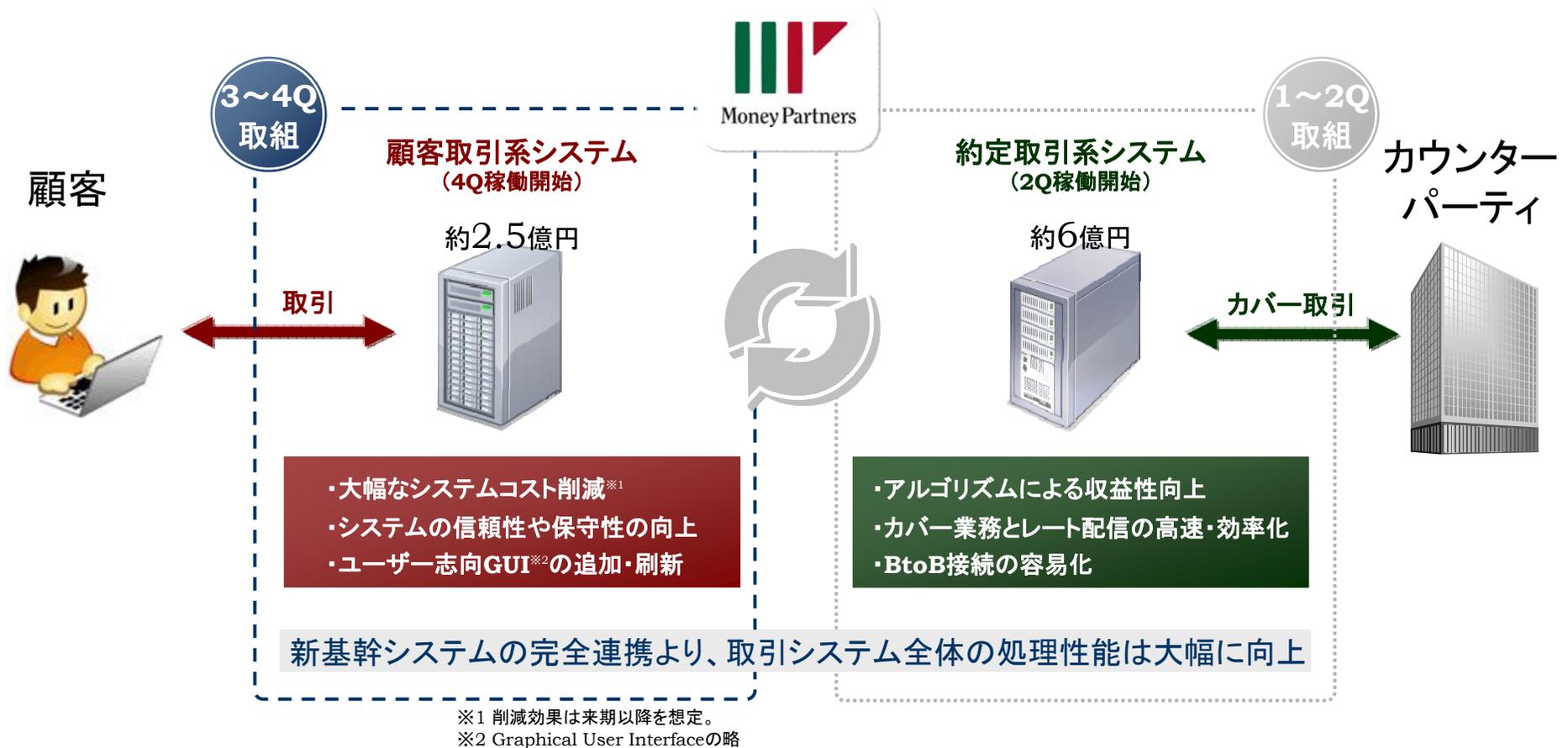
【スマホアプリ及びクイック発注ボードによる約定件数比率の推移】



スマホ及びタブレットチャネルの大幅強化による収益機会の増大を実現

## 3. 基幹システム刷新による収益性改善

- ◆ 約定取引系、顧客取引系の両基幹システムリニューアルを完了



基幹システム本格稼働によって顧客取引のマネタイズを強かに推進可能

### Ⅲ.2014年3月期の重点施策及び今後の目指すべき方向性

---





# 2014年3月期の重点施策

## 重点課題

収益力強化

顧客基盤拡大  
取引機会創出

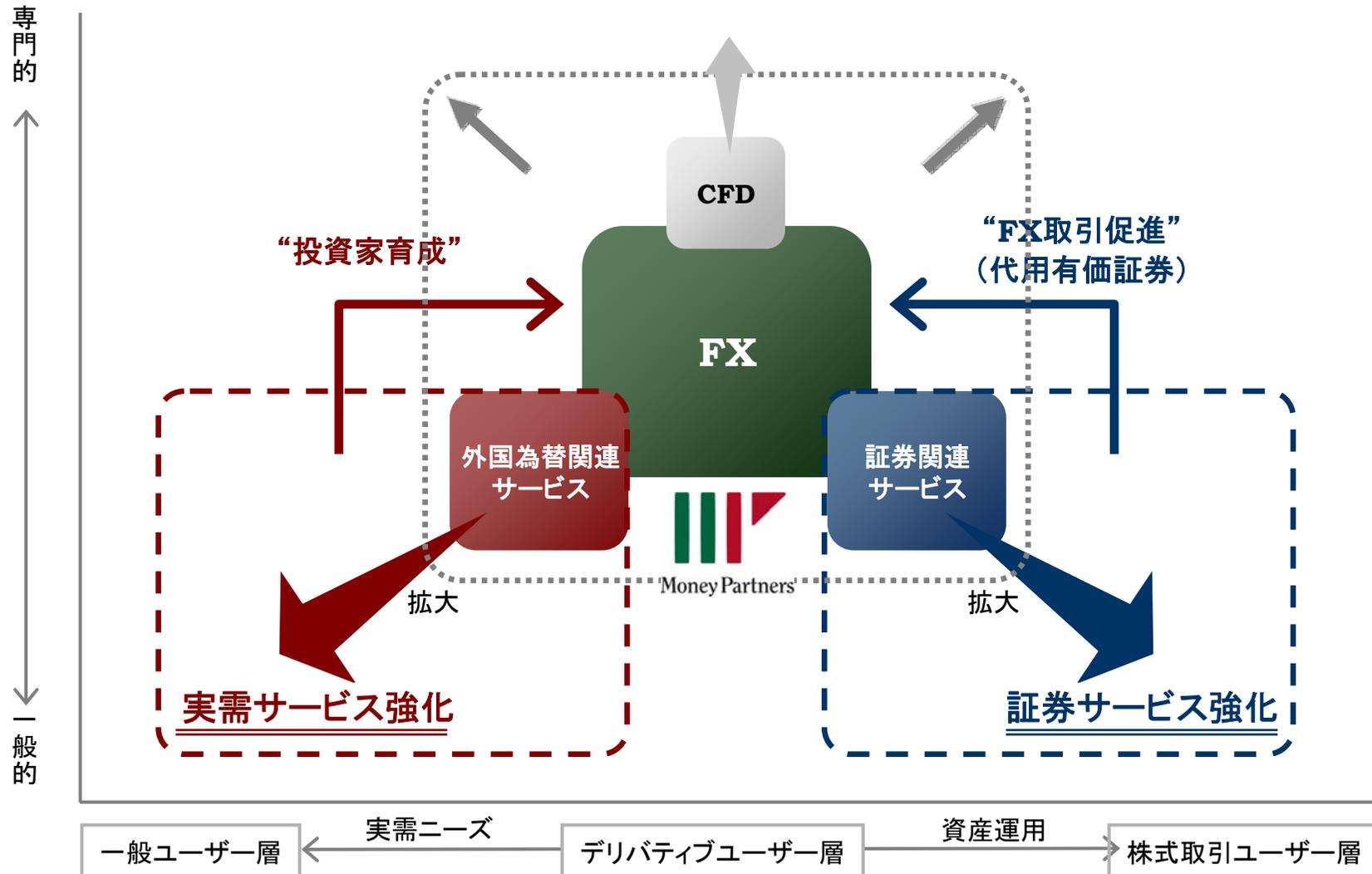
取引当たり  
収益性

ブランディング

## 重点施策

- ・新基幹システムの本格稼動に伴うカバー手法のブラッシュアップ

- ・マス向けメディア展開、商品展開によるライトユーザーの取込
- ・ツール平易化、取引サポート中心の機能改善によるビギナー層獲得



実需サービス・証券サービスの強化拡大を通してコア事業であるFX事業の成長を実現する

## IV. 当社の経営目標及び株主還元について



## 業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

### 利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げや年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図ってまいりました。今後も、株主利益の最大化を目指して参ります。

	2012年3月期				2013年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	56	80	134	66	16	△167	122	124
配当金の総額 (百万円)	30		75		—※		30(予定)	
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式20,023)				321,480 (内、自己株式20,023)			
1株当たり 配当金	100円		250円		0円※		100円(予定)	

※2013年3月期の中間配当金につきましては、無配とさせていただきます。また期末配当金につきましては株主総会の剰余金の処分決議によります。

## ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2013年3月期第4四半期(2013年1~3月)のROEは5.2%**

※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。  
ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2013年3月期第4四半期(2013年1~3月)の営業収益経常利益率は14.9%**

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE及び営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。

# 2013年3月期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

## 参考資料



当社の概要と沿革について  
当社の事業内容、収益構造、通貨ペアと売買高比率について



Money Partners Group

# グループ概要(2013年3月31日現在)

- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億8,622万円

- 主な事業内容 持株会社

- 関連会社 株式会社マネーパートナーズ

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、社団法人日本資金決済業協会  
登録番号：関東財務局長（金商）第2028号  
事業内容：1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及びこれに付随する一切の業務  
2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務  
3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務  
4. 商品先物取引業

## 株式会社マネーパートナーズソリューションズ

事業内容：1. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸及び保守  
2. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング、企画、調査、研究及びコンサルティング



社是

# DON'T STOP!

とめない、とまらない。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、  
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー  
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス



年月		事項
2005年6月	新設分割	□ 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布（資本金100,000千円）に設立し、外国為替取引事業を開始
2006年9月	システム子会社設立	□ システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
2007年6月	上場	□ 大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場（証券コード：8732）（現大阪証券取引所JQ市場）
2008年3月	金融商品取引業の変更登録完了	□ 有価証券の取扱い業務開始
2008年4月	格付取得	□ 株式会社日本格付研究所（JCR）より新規に格付を取得（短期優先債務：J-3）
2008年10月	持株会社化	□ 株式会社マネーパートナーズグループに商号変更 □ 吸収分割により、全事業をマネーパートナーズ分割準備株式会社（10月1日付で株式会社マネーパートナーズに商号変更）に承継し持株会社体制へ移行
2008年10月	100通貨単位でサービス開始	□ 100通貨単位から始められるFX取引サービス「パートナーズFXnano」リリース □ 「パートナーズFXnano」専用アプリ「XFX」も同時リリース
2009年7月	大証FX参加	□ 「大証FX」へマーケットメイカーとして参加
2010年9月	次世代版FX取引ツールリリース	□ パートナーズFX専用取引ツールの次世代版「HyperSpeed NEXT」をリリース
2011年3月	外貨両替・受取サービス開始	□ 外貨を現金（紙幣）で出金し、成田で受取可能
2011年8月	CFD取引取扱い開始	□ 金/米ドル、銀/米ドルの2銘柄を対象としたOTC（店頭相対取引）によるCFD（差金決済取引）である、「CFD-Metals」の取扱いを開始
2011年10月	スマートフォン用アプリ公開	□ パートナーズFX対応のスマートフォン用FX取引アプリ「HyperSpeed Touch」の公開が「App Store」及び「Android Market」にて開始
2012年2月	資金移動業の登録	□ 定款の事業目的に子会社等の業務として「資金移動業」を追加
2012年5月	上場	□ 東京証券取引所 市場第二部に株式上場

## 【外国為替証拠金取引に関する法改正や規制強化と、業界及びマーケットの動き】

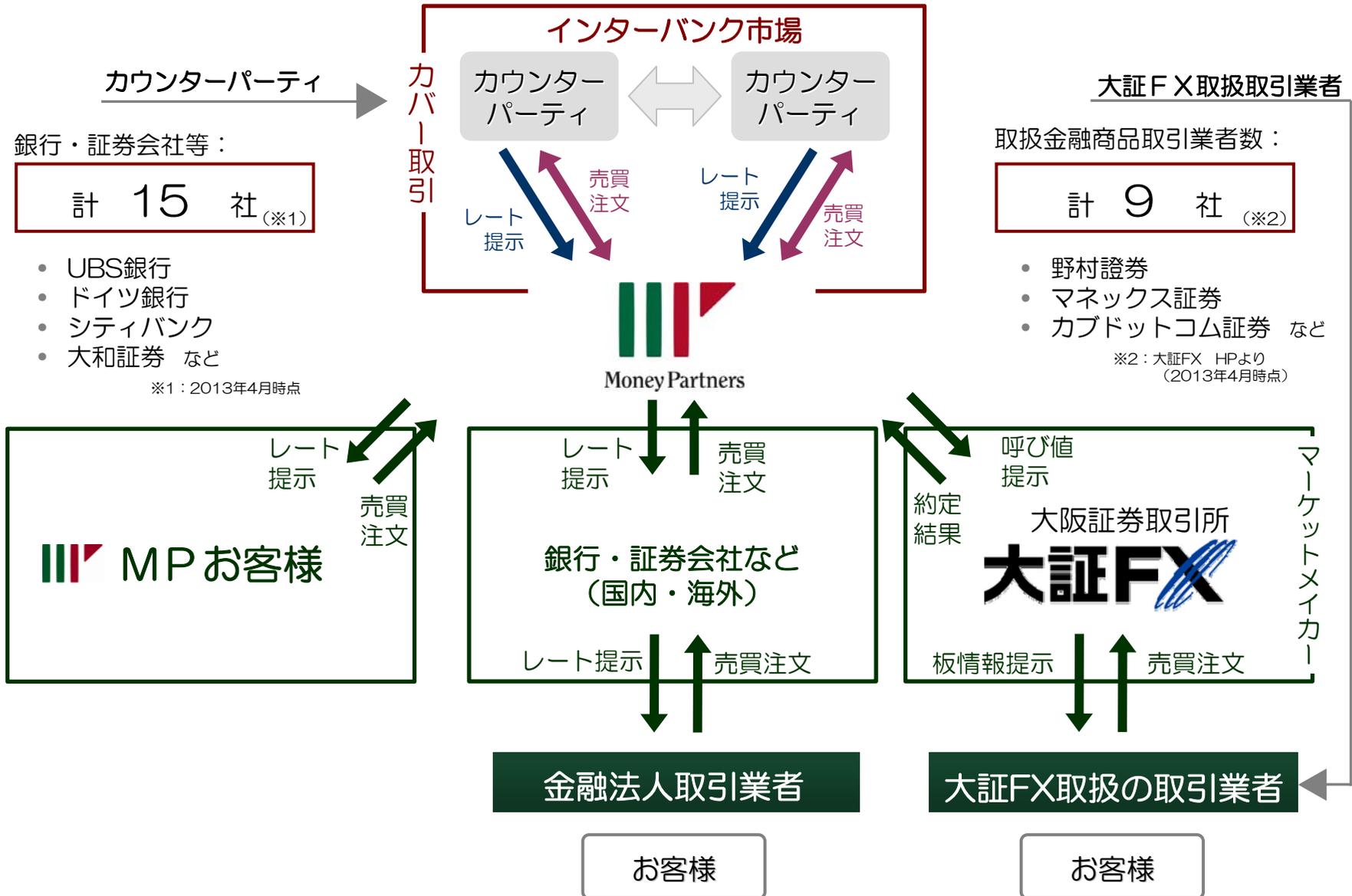
1998年4月外為法改正	▶	為替取引の完全自由化 マーケットオリエンテッドな取引商品として個人投資家の取引が活発化
2005年7月改正金先法施行	▶	乱立していたFX業者が一気に淘汰（600社→100社強へ）
2007年9月金商法施行	▶	FX業者が証券会社と同種扱いの金融庁管轄になり、透明性や内部管理体制の更なる厳格化が進展
2009年8月改正内閣府令施行	▶	預り証拠金の区分管理方法を金銭信託に一本化 FX取引に係るロスカットルール整備・遵守の義務化
2010年8月改正内閣府令施行	▶	証拠金規制が導入され、高レバレッジに対する規制が強化
2011年6月税制改正法案施行	▶	申告分離課税が適用（一律20%）され、繰越損失控除が3年間可能に 2012年1月決済分より適応

めまぐるしく変化する市場環境の中、着実な成長と発展を実現  
当社グループはFX取引の大手企業としてプレゼンス向上



Money Partners Group

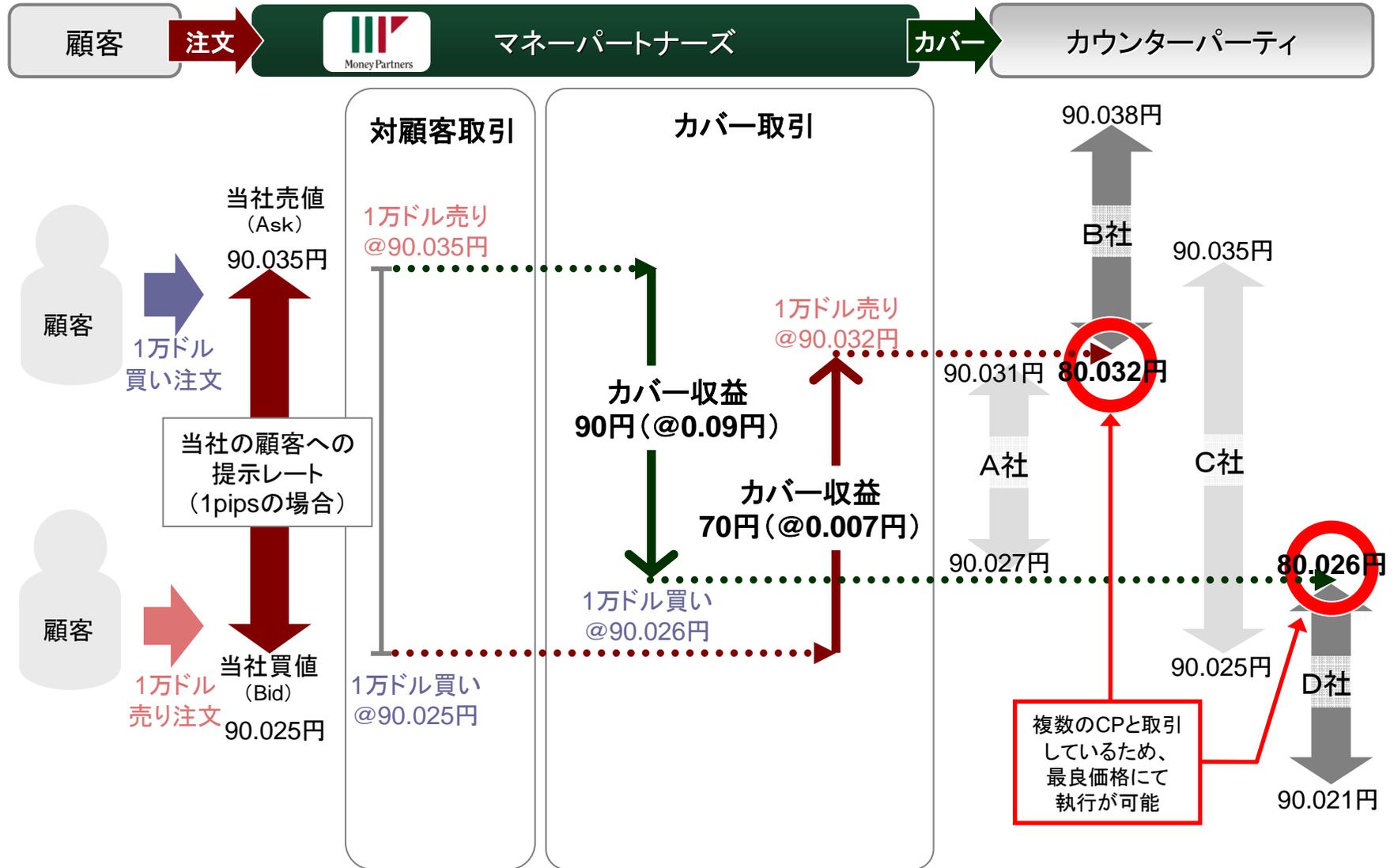
# 当社グループの収益構造(ご参考)





Money Partners Group

# 当社グループの収益構造(ご参考)





Money Partners Group

# マネーパートナーズの取扱い通貨ペアと売買高比率

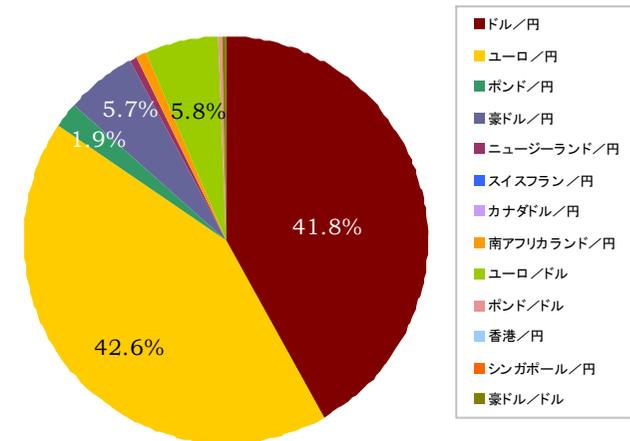
米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引が可能。さらに投資家のニーズに応える形で『FXnano』を開始し、一部通貨ペアに関しては、約10,000分の1となる100単位での取引を実現。

## 当社取扱い通貨ペア

		USD/JPY 米ドル/円			AUD/JPY 豪ドル/円
		EUR/JPY ユーロ/円			NZD/JPY NZドル/円
		GBP/JPY 英ポンド/円			ZAR/JPY 南アランド/円
		CAD/JPY カナダドル円			CHF/JPY スイスフラン/円
		EUR/USD ユーロ/米ドル			GBP/USD 英ポンド/米ドル
		HKD/JPY 香港ドル/円			SGD/JPY シンガポールドル/円
		AUD/USD 豪ドル/米ドル			

下記グラフは当社の2013年1月-3月度の取扱い通貨ペア別の売買高比率をあらわしたものです。



今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やしていく予定です。



## 取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnano及びCFD-Metalsは、取引時の価格又はスワップポイントの変動、及びスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位当たり最大0.40円の手料をいただきます。

パートナーズFX及びパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.625%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

# 2013年3月期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ